

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)エールヴィータ大町駅前			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)				
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.4
Q1 室内環境						0.40		-	3.2
1 音環境					2.0	0.15	3.0	1.00	2.8
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					1.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能					1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温					3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能					3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.0	0.25	3.8	1.00	3.6
3.1 昼光利用			昼光率計算による 南、東西側に開口部を確保		3.0	0.30	4.6	0.50	
1 昼光率					3.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御					3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策			F☆☆☆☆を全面採用		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策					-	-	-	-	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-			
2 喫煙の制御			-	-	-	-			
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					3.6	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ			1000Mサービスを採用		3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			居室天井高2500mm		4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観					-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画			ホテルをテーマに素材を厳選しパースを作成、照明も含め全体的に計		4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			汚れない材料、汚れても拭取りが出来る材料を採用		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			汚れの残り難い工夫、清掃のし易い工夫、保守スペースの確保		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
	3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0	
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高2,910mmとしている	-	-	3.2	0.50		
	2	空間の形状・自由さ		-	-	4.0	0.60		
				-	-	2.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-		
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-			
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-			
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-			
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-			
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-			
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.6		
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮			景観法に基づきまちなみに調和した外観としている		5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5		
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		玄関周りに共用スペースを提供		4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3		
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4		
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0		
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 1.04	3.8	0.50	-	-	3.8	
集合住宅以外の評価(3a.3b)			1.0	-	-	-			
集合住宅の評価(3c)			エコジョーズを採用		3.8	1.00	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価			-	-	-	-			
4.1 モニタリング			-	-	-	-			
4.2 運用管理体制			-	-	-	-			
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-			
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3		
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0		
1.1 節水			3.0	0.40	-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-			
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4		
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			杭に高炉セメント採用		5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.20	-	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3		
3.1 有害物質を含まない材料の使用			F☆☆☆☆を全面採用		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-			
1 消火剤			-	-	-	-			
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-			
3 冷媒			3.0	0.50	-	-			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4		
1 地球温暖化への配慮			CO2削減を考慮		3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0		
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			
3 交通負荷抑制			駐車施設の附置に関する条例の基準を満足し、かつ200%近い駐輪		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-			
1 騒音			3.0	0.33	-	-			
2 振動			3.0	0.33	-	-			
3 悪臭			3.0	0.33	-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-			
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-			
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-			
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			光害対策ガイドラインの過半をクリア、広告物照明なし		5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-			